

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を有する会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。

世界地図をよく見てみよう。
海で暮らす生き物は、何頭いるかな？

ぼくは数に
いれない
でね！
ミラエネクイズ！

日本では、
中東から2週間かけて
輸送してきた天然ガスを
たった3日で
使いきってしまいます。



ホルムズ海峡を通る
タンカーが危ない！
なぜこんなに問題に
なっているの？

先日、ホルムズ海峡で
日本のタンカーが攻撃されたことがニュースになっていました。
ホルムズ海峡を通れなくなると、
みなさんの生活にも大きな問題が…
一体なにが問題なのでしょう？一緒に考えていきましょう。

はじめまして
タンカーです

大きな問題って
何だろう！

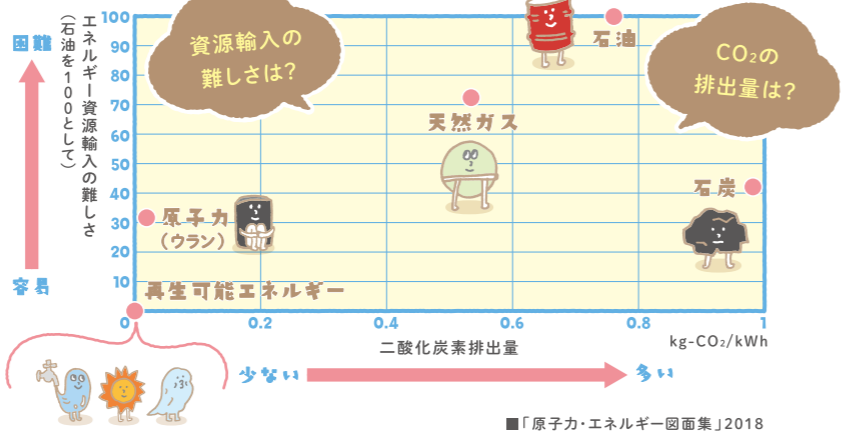
日本の発電は火力発電に頼らないことってできないの？

火力発電は、CO₂を排出し、資源を輸入しなければなりません。安定して大量に発電できるという特徴があります。ほかのエネルギー資源もその特徴は、さまざま、それぞれの特徴を知り、活用していくことが求められています。

発電量の安定性は？

お天気次第で変わってしまう

安定して発電できる



エネルギー資源を輸入に頼る日本にとって、ホルムズ海峡は生命線だから。

ホルムズ海峡は、中東の産油国から輸入する天然ガスや原油を運ぶ、海の輸送ルートのかなめです。ここを攻撃されるとタンカーが通れなくなり、エネルギー資源が日本へ届かなくなるおそれがあります。



日本の火力発電で使うエネルギー資源(天然ガスや原油)の一部は、ホルムズ海峡を通して運ばれてきます。もし、これが届かないと発電できなくなってしまうおそれ!

まとめ

安定して発電し、CO₂排出量を減らしていくためにも、バランスよくエネルギー資源を組み合わせることが大切です。